◇ 3月の天文暦 ◇

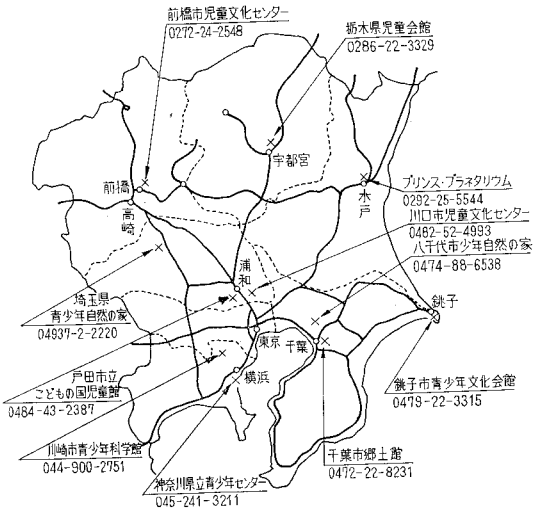
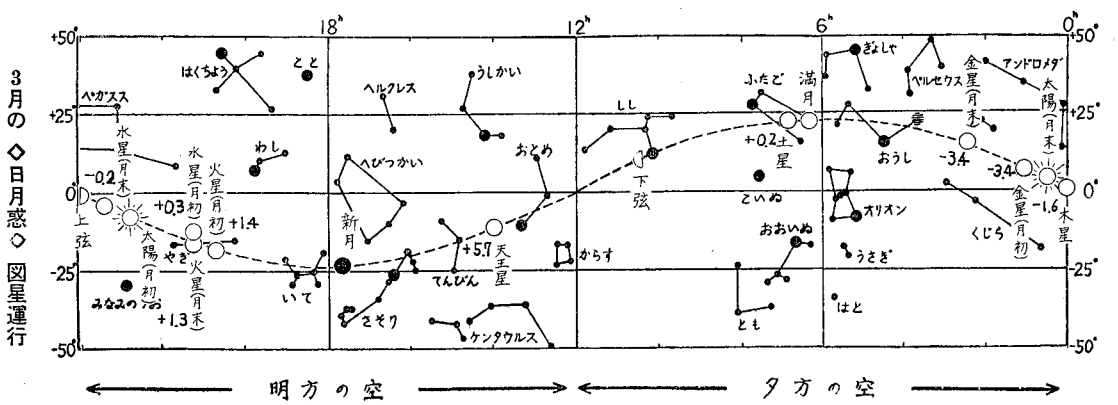
日	時	記事
5	5	**下弦**
6	14	啓蟄（太陽黄経 345°）
	15	水星 西方最大離角
11	14	月 最遠
13	9	**朔**
14	15	土星 留
15	0	海王星 留
21	5	**上弦**
	15	春分（太陽黄経 0°）
22	11	木星 合
26	18	月 最近
27	20	**望**

☆ 天文教育施設めぐり（II）☆

関東地方

関東地方(東京都を除く)の中には，ドームの直径 8m 以上のプラネタリウムを設置している施設が11カ所あって，各県に1台～3台の割合で設置されている．いずれも国産のプラネタリウムで，五藤光学とミノルタ光学の製品である．埼玉県青少年自然の家と八千代市少年自然の家（特別の日に一般公開）を除いたあとの施設は，どこも土，日曜日に一般公開をしている．

一般公開をしているところでは，毎月の解説話題をきめて，40分～50分程度の投影を行なっているが，平日はほとんど団体専用で，特に小，中学生のための学年別学習投影を行なっているところが多い．この場合は，投影時間，投影方法なども各所でだいぶまちまちのようである．平日の利用は，小学校4年生の団体が圧倒的に多いようである．

これらの施設の中で，いちばん早くプラネタリウムを設置したのは，神奈川県立青少年センターで，昭和37年11月以来，土，日曜日，祝日には一般公開，そして火～金曜日には学校教育のための投影を行なっている．ここのプラネタリウムは開館以来10年ほど，五藤光学製のM-1型を使用していたが，昭和47年12月に更新して，現在，同社製のGM-15-AT型を使用している．この機種の特徴は，すべての操作を自動的にもできるという点であろう．あらかじめ特種なテープにプラネタリウムの演出に沿って信号を録音しておくと，あとはスイッチ一つで，手動の操作と同じような投影をすることができるのである．このオートの投影は，日曜日，祝日などの一般公開のときにだけ使用している．栃木県児童会館のプラネタリウムも古いほうで，10年ほど前から五藤光学製のM-1型を使用して活躍している．ここでも一般公開のほかに，平日の小学生の学習投影にも力を入れ，団体申し込みの多いときには1時間ごとに投影を行なっている．

（河原郁夫）